

令和元年度第1回 障害者歯科保健医療推進ワーキンググループ 議事概要（案）

日時：令和元年7月16日（火曜日）18時30分から20時まで

場所：東京都庁第一本庁舎42階 特別会議室C

1 報告事項

（1）令和元年度 歯科保健医療関係事業について

- ・ 令和元年度の歯科保健医療に関する事業について説明。

（2）障害者歯科医療推進モデル事業について

- ・ 事業内容について説明。（委託先：昭和大学歯科病院、日本歯科大学（口腔リハビリテーション多摩クリニック））

2 協議事項

（1）障害者歯科医療の推進に向けた調査について

- ・ 調査概要及び調査結果（速報値）について説明。詳細な解析は、これから進めていく。
- ・ 協議事項の資料については、速報値であり、調査解析の途中であるため、非公開及び委員止まりの扱いとすることで、了承。

<主な意見>

- ・ 調査解析において、施設の規模をクロス集計に反映してほしい。
- ・ 東京都心身障害者口腔保健センターが実施している地域派遣研修などの資源をうまく活用しながら、事業所の職員が知識を深めていくということが必要。
- ・ 家族の方や職員の方が、どんなふうに口の中を見たらいいのか等をアドバイスできるようなツールが必要。
- ・ 通院の理由としては、歯の清掃や定期的に通うなどが非常に多く、治療中心からすごく変わってきたと感じた。また、通院の目的などについては、年代別でいろいろ変わってくると思う。

（2）調査結果から見えた課題及び取組の方向性について

<主な意見>

- ・ 歯科医療機関を選ぶ理由として「優しく丁寧だから」や、歯科医療機関に望むこととして「障害に配慮して丁寧に対応してほしい」、歯科治療を受ける上で困っていることとして「治療が怖い・治療の説明が分からない」という回答が多く挙がった。しかし、歯科治療を受ける上で困っていることとしては、未回答が多く、何に困っているのかを言うことができない、あるいは本人が認識していないというところが一番の問題であり、どこを解消すれば本人たちの不安を取り除くことができるのかというのが本質的な問題である。

- 歯科医療機関に望む事については、多様性を持っており、ご本人の意見も重要だが、付き添いの家族や施設職員がいかに安心して歯科受診ができるかも重要である。健常者の方と同じように治療を受けることを良しとする家族もいれば、個別でやってほしいという家族もいて、また、それはどちらも正しく、どちらも望まれているところかと思う。歯科医療を推進していく上において、一様にこうすればいいのではなくて、いろいろなタイプの診療所やいろんな対応ができる診療所を地域につくっていくというのが一つの答えになるのではないかと思う。
- 歯科医療機関の状況の見える化、データベース化を東京都にやってもらい、それをベースにいろいろな機関が連携していく。データベースがないと、連携しろ、丁寧に治療しろと言われても、なかなか難しいと思うので、ぜひ取組を推進してほしい。